

令和元年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

北九州市立 霧丘 小学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、令和元年6～7月に、5年生を対象として、「体力・運動能力」と「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。また、運動習慣については、学校のみでなく、家庭で運動を一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立に向けた取組の充実をお願いします。

※本調査により測定できるのは、体力・運動能力の特定の一部分です。

1. 調査の目的

- (1) 子どもの体力等の状況に鑑み、国が全国的な子どもの体力の状況把握・分析することにより、子どもの体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会、各公立学校が全国的な状況との関係において自らの子どもの体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、子どもの体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各公立学校が各児童の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康に関する指導などの改善に役立てる。

2. 調査内容

(1) 実技に関する調査

[8種目] 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

(2) 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

3. 体力・運動能力に関する調査結果の概要

全国・本市・本校の実技調査の結果

<男子>

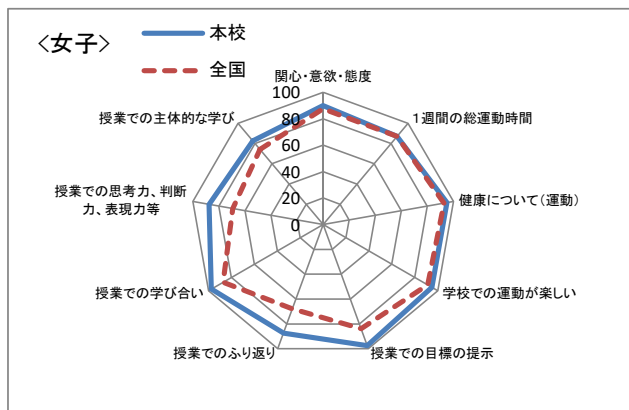
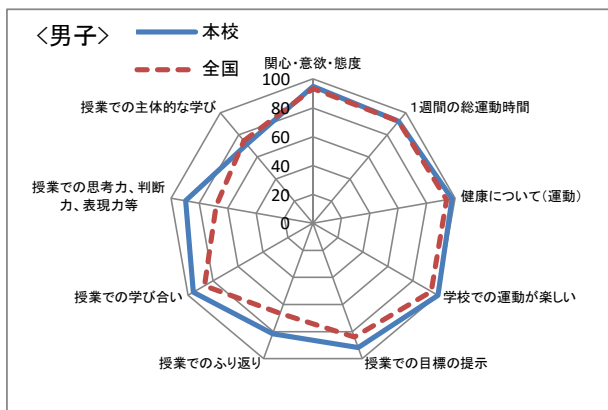
| 本年度の結果 | 握力 | 上体起こし | 長座体前屈 | 反復横とび | 20mシャトルラン | 50m走 | 立ち幅とび | ソフトボール投げ | 体力合計点 |
|-------------|-------|-------|-------|-------|-----------|------|--------|----------|-------|
| 全国 | 16.37 | 19.80 | 33.24 | 41.74 | 50.32 | 9.42 | 151.45 | 21.61 | 53.61 |
| 本市 | 16.56 | 20.49 | 33.51 | 42.17 | 52.49 | 9.39 | 153.34 | 22.91 | 54.52 |
| 本校全国平均以上の種目 | | | | | | ○ | | ○ | |

<女子>

| 本年度の結果 | 握力 | 上体起こし | 長座体前屈 | 反復横とび | 20mシャトルラン | 50m走 | 立ち幅とび | ソフトボール投げ | 体力合計点 |
|-------------|-------|-------|-------|-------|-----------|------|--------|----------|-------|
| 全国 | 16.09 | 18.95 | 37.62 | 40.14 | 40.79 | 9.64 | 145.68 | 13.61 | 55.59 |
| 本市 | 16.49 | 19.55 | 38.14 | 40.49 | 42.02 | 9.64 | 147.47 | 13.79 | 56.34 |
| 本校全国平均以上の種目 | | | ○ | | | ○ | | ○ | |

4. 運動習慣や生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査レーダーチャート



質問紙調査の結果分析

男女ともに「ソフトボール投げ」「50m走」の項目で全国平均を上回っている。本校の体育科授業改善では、学習課題の解決に向けた話し合い活動を通して、児童同士の学び合いの活性化を中心に改善してきた。その成果として「学校での運動が楽しい」の項目が100%を達成し、「思考力、判断力、表現力」の項目が全国平均を大きく上回ったのだと考えられる。学びに向かう意欲の高さを保ちつつ、児童一人一人に応じた体力向上に努めていく必要がある。

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科(授業)に関する取組(全校で・学年で・学級で)

本校では、授業開始のウォーミングアップで、ジャンプアップ運動や学習に合った運動を取り入れている。体幹を機能的に活かし、心拍数をあげた状態で運動に取り組むため、体の可動域が広がり、けがの防止や運動量の確保がされている。また、めあてに即した学習展開を工夫し、ペア学習やグループ学習を積極的に行い、児童同士の関わり合いや教え合いを活発にすることで、積極的に運動に取り組む児童の育成を図っている。

② 運動習慣等に関する取組(1校1取組)

全校で「霧小オリンピック」や「節分集会(オリンピック・パラリンピックの競技に挑戦しよう)」などに取り組み、運動やスポーツに対する興味関心を高め、児童の運動習慣づくりの一助としている。また、手洗いやうがい、歯みがきの大切さと呼び掛けたり、自他の健康に関する意識づけをしたりするなども行っている。